

大分トリニータ

1994年、大分トリニータとして創部。1999年にJ2リーグに参加し、2003年にJ1リーグ昇格。2008年に「ナビスコ杯（現ルヴァン杯）」で、九州勢初のJタイトルを獲得した。プロチームのみならず、アカデミー（育成組織）からは多くのトップ選手を輩出しており、サッカーを通じて大分の活力を生み出している。



アカデミーダイレクター
神川 基 さん

U-12～U-18の育成を担当。現役引退後、コーチからアカデミースタッフとなり20年以上チームに携わっている。大分県出身。

大分トリニータのアカデミーには、4歳からサッカーを始められるスクールのほか、12歳以下、15歳以下、18歳以下、レディースのカテゴリーがあります。アカデミーでサッカーをするということは、トップチームや上のカテゴリーでプレーする選手、目標となるものが常にあるということ。恵まれた環境のなかで「うまく、速く・強く」そして「精神的にたくましい」選手に育てると同時に、「素直さ・謙

虚さ・目標意識」を持てる人間性の育成がアカデミーとしての意義。現在、国内外で活躍する西川選手や清武選手を輩出した実績を踏まえ、トリニータのDNAを次世代に受け継ぎ、可能性を秘めた一人ひとりの「個」を育成することが求められています。また、幼い時から頑張る姿を応援してくれているサポーターの皆さんも多く、地元で育ててもらっているという気持ちもアカデ



浦和レッズ
西川 周作 選手



セレッソ大阪
清武 弘嗣 選手

ミー内にあふれています。指導者が情熱を持って選手と向き合うことで、人間力にも優れた選手が育つと信じていますし、指導者である我々もサポーターとして、選手の夢の実現を応援しています。

技術と人間性に優れた 未来のリーガーを育成する

J1昇格やJタイトル獲得などを経験し、大分の活力を生み出してきた大分トリニータ。サポーターとの交流も多く、地域とともに成長してきたチームです。大分トリニータでは、将来トップチームで活躍できる選手を育てるアカデミーを運営しています。今回は、アカデミーで選手の育成やスカウトを担当している神川基さんにお話を伺いました。

地域とともに成長してきた大分の活力



大分トリニータ
姫野 宥弥 選手
(大分市出身)

アカデミー出身！ 姫野選手インタビュー

地元の応援を力に 勝利を皆さんにお届けしたい

幼稚園入園前からボールを蹴ることの楽しさを教えてくれたスクール時代。U-12からの各カテゴリーでは、チームに入るための選考があるのですが、U-15への選考に漏れた時は本当に悔しくて泣きました。それでもプロへの道を諦めずに、HOYO AC ELAN大分（現ヴェルスパ大分）U-15でプレーし続けました。大分トリニータU-18でアカデミーに復帰し、2015年トップチームに昇格。挫折を味わったからこそ、プレー面だけでなく精神的にも強くなったと思っています。小さい頃から憧れていたスタジアムのピッチに自分が立った瞬間は鳥肌が立つほど興奮し、サポーターの皆さんの声援を糧に戦う責任と喜びを感じました。今、アカデミーで頑張っている皆さんも、最後まで諦めずに頑張ってください。



HOME TEAM

大分が誇るホームチーム

スタジアムやアリーナの中心で躍動する選手たち。彼らの勝利に向かってひたむきにプレーする姿は、私たちの心を打ち、夢中にさせます。今回は、大分市に拠点を構える3つのチームを紹介します。



おおいた市